

予算特別委員会記録

1. 日 時 令和4年6月10日(金)

午前9時30分 開 会

午前9時57分 閉 会

2. 場 所 白 鷹 町 役 場 議 場

3. 議 題 議第39号 令和4年度白鷹町一般会計補正予算(第1号)について

○出席委員(9名)

2番	金 田 悟 委員	3番	横 山 和 浩 委員
4番	竹 田 雅 彦 委員	7番	小 口 尚 司 委員
8番	奥 山 勝 吉 委員	9番	山 田 仁 委員
10番	菅 原 隆 男 委員	11番	関 千鶴子 委員
12番	遠 藤 幸 一 委員		

○欠席委員(2名)

5番	丸 川 雅 春 委員	6番	笹 原 俊 一 委員
----	------------	----	------------

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	佐 藤 誠 七
副 町 長	田 宮 修
教 育 長	衣 袋 慶 三
総 務 課 長	菅 間 直 浩
税 務 出 納 課 長	佐 藤 雅 志
企 画 政 策 課 長	加 藤 和 芳
町 民 課 長	橋 本 達 也
健 康 福 祉 課 長	長 岡 聡
商 工 観 光 課 長	小 林 裕
農 林 課 長 併 農 業 委 員 会 事 務 局 長	大 木 健 一
建 設 課 長	菊 地 智
上 下 水 道 課 長	鈴 木 克 仁
病 院 事 務 局 長	鈴 木 秀 一

教 育 次 長	橋 本 秀 和
監 査 委 員	竹 田 謙 一
務 課 長 補 佐	鈴 木 秀 昭
兼 財 政 長 補 佐	梅 津 友 宏
兼 務 課 長 補 佐	

○職務のために出席した者の職氏名

議 会 事 務 局 長	高 橋 浩 之
補 佐	芳 賀 和 則
書 記	竹 田 雅 紀 子

開 会

〈午前9時30分〉

○開会の宣告

○委員長（奥山勝吉） おはようございます。ご参集、誠にご苦労さまです。

これより予算特別委員会を開会いたします。

出席委員は9名であります。

笹原委員、丸川委員より欠席の通告があります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

昨日開催の第3回白鷹町議会定例会本会議において、本委員会に付託された令和4年度白鷹町一般会計補正予算（第1号）についての審査を行います。

審査の方法は、お手元に配付の補正予算審査文書表のとおり、一般会計について令和4年度補正予算説明書の概要により説明を受け、一問一答形式で審査を行った後、採決したいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（奥山勝吉） ご異議がないので、そのように進めることに決しました。

○議第39号の説明、質疑

○委員長（奥山勝吉） それでは、議第39号 令和4年度白鷹町一般会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

初めに、補正予算の概要について説明を求めます。菅間総務課長。

○総務課長（菅間直浩） ご説明を申し上げます。

補正予算説明書の概要、2ページをお開きください。

概要につきましては、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に対応するため、4回目のワクチン接種や、消費喚起、物価高騰の影響緩和に向けた緊急経済対策、学校給食に係る保護者負担への追加支援等を講じるほか、農業関連の補助事業や雪害を受けた公共施設の修繕等について対応したものでございます。

款、補正額、主な説明を申し上げます。

初めに、歳入でございます。

14款国庫支出金、1億6,249万9,000円。新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金1,715万7,000円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億925万円、住民税非課税世帯等臨時特別支援事業費補助金2,420万円、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金650万円などがございます。

15款県支出金、2,010万9,000円。中ほどになります、元気な地域農業担い手育成事業533万3,000円、山形県みどり環境交付金188万円、地域消費喚起推進事業費補助金1,261

万円などでございます。

17款寄附金、300万円。観光費への寄附でございます。

19款繰越金、2,969万2,000円。

20款諸収入、250万円。コミュニティ助成事業でございます。

歳入合計2億1,780万円。

次のページをお願いいたします。

歳出でございます。

共通事項といたしまして、人件費、262万3,000円の減額、人件費の調整でございます。

款別の概要になります。

2款総務費、740万円。企画費（広告料）120万円、人口減少対策のPR強化への対応でございます。コミュニティ助成事業250万円、蚕桑地区が行うコミュニティー活動用備品の整備に要する経費でございます。地区コミュニティセンター費170万円、分館施設整備事業の申請増加に対応するための追加でございます。

3款民生費、3,385万7,000円。住民税非課税世帯等臨時特別支援事業2,420万円、住民税非課税世帯等に対し給付金を支給するための対応でございます。子育て世帯生活支援特別給付金事業950万3,000円、低所得の子育て世帯に対し給付金を支給するための対応でございます。

次のページをお開きください。

4款衛生費、2,297万6,000円。新型コロナウイルス感染症に係る検査費用助成事業125万円、高齢者及び基礎疾患を有する方等のPCR検査に係る費用の支援を行うための対応でございます。新型コロナウイルスワクチン接種事業1,954万6,000円、高齢者及び基礎疾患を有する方を対象とする4回目ワクチン接種への対応でございます。環境基本計画等策定事業218万円、環境基本計画等の策定支援などへの対応でございます。

6款農林水産業費、1,272万5,000円。六次産業化推進拠点施設整備事業200万円、事業着手に向けた測量及び地盤調査への対応でございます。元気な地域農業担い手育成支援事業800万円、地域ぐるみで生産性向上等を目指す取組に対し県と連携して支援するための対応でございます。みどり環境交付金事業190万円、木に親しむ環境づくりなど地域提案事業の追加に伴う対応でございます。

次のページになります。

7款商工費、1億1,324万1,000円。観光施設支援事業187万円、ポストコロナに向けた観光施設の誘客促進となる新たな取組を支援するための対応でございます。深山和紙振興研究センター費691万1,000円、同センターのトイレの洋式化等の工事を行うための対応でございます。飲食店等応援緊急経済対策事業1,956万円、需要拡大に向けた町内飲食店等に対する支援への対応でございます。雇用調整助成金申請代行補助事業150万円、雇用調整助成金等の申請に係る代行費用補助を行うための対応でございます。事業

継続雇用維持給付金1,200万円、雇用調整（休業）を実施した事業者への給付金の対応でございます。緊急経済対策地域応援券事業7,140万円、コロナ禍における消費喚起、物価上昇を受けた生活への影響緩和のため、地域応援券の給付を行うための対応でございます。

9款消防費、1,078万8,000円。消防施設費600万円、下山旧ポンプ庫及び貝生・針生警鐘台の解体撤去への対応でございます。災害対策費478万8,000円、新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な物品等の購入、庁舎内の新型コロナウイルス感染症対策、セキュリティ強化に向けた調査等への対応でございます。

次のページをお開きください。

10款教育費、1,681万3,000円。事務局費500万円、原材料高騰の影響を受ける給食費保護者負担への支援に対する追加計上でございます。学校給食緊急支援事業250万円、新型コロナウイルス感染症等による臨時休校の際に未使用となる給食費用を負担するための対応でございます。小学校管理費275万7,000円、中学校管理費348万7,000円、保健体育施設費215万1,000円、いずれも雪害等による施設の修繕を行うための対応でございます。

歳出合計2億1,780万円。

説明は以上でございます。

○委員長（奥山勝吉） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

質問される方、答弁される方は、それぞれ簡潔明瞭にされるよう申し添えます。また、質問される方はページを示してください。

3番、横山委員。

○3番（横山和浩） それでは、何点かお伺いをいたします。

最初に、概要の3ページでございます。2款総務費、企画費（広告料）として120万円が計上されておりますが、どのような取組であるのかをお伺いいたします。

○委員長（奥山勝吉） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。広告費に関しましては、町が取り組んでおります保育料無償化や移住・定住促進のための人口減少対策につきましてPRするため、フリーペーパーや地域情報誌などへの情報掲載を行うものであります。

○委員長（奥山勝吉） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） そうなりますと、対象が若い方になるのかなと思います。その若い方を対象としたデザインなんかも重要になると思うのですが、そのあたりについての配慮などあればお伺いいたします。

○委員長（奥山勝吉） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。デザインにつきましては、これからプ

プロジェクトチーム等々で検討していきたいと考えておりますが、できるだけ若い方の目につくような、そういったPRにしていきたいと考えております。

○委員長（奥山勝吉） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 続いてお伺いたします。予算書の6ページでございます。まちづくり推進費の中に地域おこし協力隊に関連して記載がございます。もともと会計年度任用職員としておったのを活動交付金に替えたのかなと思いますが、その目的、理由についてお伺いたします。

○委員長（奥山勝吉） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。地域おこし協力隊につきましては、現在、3名の方が活動されております。また、今回のこの予算につきましては、地域おこし協力隊の受入れを希望している団体がございまして、そちらと協議をした結果、活動しやすい環境づくりを考慮しまして、会計年度任用職員の給与から補助交付金に予算替えを行ったものでございます。

○委員長（奥山勝吉） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 関連してお伺いたします。町のホームページを拝見しますと、この地域おこし協力隊としては、NIPPONIA白鷹源内邸での勤務ということと理解しておりますが、民間の株式会社のようにございます。そういった意味では、公益の部分といたしますか、町民、地域にどのような恩恵があるということを考えて取り組んでおられるのかをお伺いたします。

○委員長（奥山勝吉） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。町からの補助につきまして、白鷹町広域まちづくり協議会という団体に補助交付金として交付するものでございます。その構成員であります、株式会社u k i t a mさんに雇用していただくことと考えております。

なお、この白鷹町広域まちづくり協議会になりますが、その構成員は一般企業もございしますが、目的としましては、地域との連携を深め、地域の魅力を発信していくということで設立されておりますので、そちらの内容に合致した地域おこしにつなげていただきたいと思いますと考えております。

○委員長（奥山勝吉） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 関連してお伺いたします。地域おこし協力隊として、従前、「あゆみしる」の協力隊を募集されていたかと思うのですが、今募集は止まっているようでございます。その理由等についてお伺いたします。

○委員長（奥山勝吉） 橋本教育次長。

○教育次長（橋本秀和） お答えいたします。歴史民俗資料館「あゆみしる」では、昨年の7月、プレオープンの際に地域おこし協力隊を募集した経過がございます。資料館の運営ですとか企画展やワークショップなどを司る学芸員に加えまして、施設の管理部門

や学芸員をサポートするスタッフとして募集を行ったものでございます。しかしながら、応募がなかったという状況でございます。

歴史民俗資料館「あゆみしる」につきましては、歴史文化の拠点として整備を行いました。地域の拠点である各地区のコミュニティセンター、芸術文化の拠点である文化交流センター「あゆむ」 と連携しながら、生涯学習の活性化と効率的な運営を行うこととしているため、主に施設の管理部門については十王地区コミュニティセンターに委託をし、施設管理人2名が配置されている状況でございます。

現在、施設管理人には、施設の管理のみならず、運営面でも活動いただいております。引き続きこの体制で、歴史民俗資料館「あゆみしる」が多くの方に愛され、たくさんの方に利用していただけるよう取組を進めていくものでございます。

○委員長（奥山勝吉） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 続いて、4款、予算書9ページをお開きください。環境保全費の中に環境基本計画・エネルギー計画策定支援業務ということで200万円計上されております。これから計画をつくっていくということだと理解しておりますが、計画が策定された暁には、いわゆるパブリックコメントなども続けられるものと思います。町民の方に対して、こういったものが進むということ、啓発等をこれから併せて行われるのかどうかお伺いいたします。

○委員長（奥山勝吉） 橋本町民課長。

○町民課長（橋本達也） お答えいたします。環境問題の解決につきましては、重要な問題でございまして、技術開発が大きく進むことがまずは重要かと考えております。

ただ、一方で、技術開発だけでは解決し得ない問題でございまして、一人一人の意識が変わることがなければ達成できないものと捉えておるところでございます。そういった中で、環境に関して啓発をしていくことは大変重要なことと認識しておるところでございます。

啓発の取組に関しましては、町には白鷹町美しい郷づくり推進会議というものが設置されておるわけでございますが、環境基本計画において計画を推進する推進母体という位置づけとなつてございます。小型家電の回収ですとか使用済み天ぷら油の回収、また、環境フェアの開催等々によってそういった啓発活動もしているというところでございます。また、町報におきましても、今年度、地球温暖化対策の啓発記事を毎号掲載していく予定としておるところでございます。

今年度のこの環境基本計画の策定等々につきましても、併せて機会を見てそういった部分をお知らせしていくとともに、委員からございましたように、最終的にはパブリックコメントという形で町民の皆様にお示しして、ご意見をいただきたいと考えておるところでございます。以上です。

○委員長（奥山勝吉） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 最後、もう1点お伺いいたします。6款農林水産業費についてでございます。予算書の10ページをお開きください。2項林業費に木工展示品作製委託として52万円が計上されております。これはどういったものを作製委託されるのか、そして作製されたものはどのように活用されるのかをお伺いいたします。

○委員長（奥山勝吉） 大木農林課長。

○農林課長併農業委員会事務局長（大木健一） お答えいたします。木工展示品作製委託につきましては、みどり環境交付金事業で計画したものでございます。木造建築におきます技術伝承とともに、文化伝承につなげるということを目的に計画したものでございまして、いわゆる小屋の小屋組作業をしながら、さらには建物を建てるときのいわゆる建前ということでの模擬上棟式ということを披露するような形で実施をしていきたいということを考えているところでございます。

○委員長（奥山勝吉） 4番、竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 2点ほどお尋ねをしたいと思います。

概要書の4ページ、6款農林水産業費の中の元気な地域農業担い手育成支援事業、これは県から533万3,000円、町で266万7,000円、合わせて800万円というところでございますが、事業概要として地域ぐるみで生産性向上等を目指す取組に対し支援するとございます。県や町としては、具体的にどういった取組を想定しているか、もう想定していられればお聞きしたいと思います。

○委員長（奥山勝吉） 大木農林課長。

○農林課長併農業委員会事務局長（大木健一） お答えいたします。この元気な地域農業担い手育成支援事業につきましては、県の補助事業ということで、県3分の1、町が6分の1、合わせて2分の1補助ということになる事業でございます。

それぞれ、地域の元気に向けてということになりますが、現在、2件が計画しており、一つは、スマート機能としてのGPS、それから直進するときはハンドル操作が要らない機能があるそうですが、そういった機能搭載のトラクター導入などで作業効率化を図り、さらには経費の削減などにつなげまして、余った労力でほかの作物を導入しながら収益確保、さらには人材の確保につなげるという計画。

もう1件につきましては、地域の稲作農家の方の精米作業を受託して、米の付加価値を高めるという、それを地域ぐるみでやっていこうという計画となっております。その支援に当たっていききたいと考えております。

○委員長（奥山勝吉） 4番、竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 確認ですが、上限400万円の2件という認識でよろしいでしょうか。

○委員長（奥山勝吉） 大木農林課長。

○農林課長併農業委員会事務局長（大木健一） お答えいたします。上限が設けられておまして、委員おっしゃるとおり、400万円という上限があるものでございます。

○委員長（奥山勝吉） 4番、竹田委員。

○4番（竹田雅彦） スマート農業にもつながる第一歩かなと思いますので、ぜひ支援をしていただきたいと思います。

続きまして最後、1点だけ。概要書の5ページ、9款消防費の中の災害対策費で478万8,000円ほどあって、その事業概要の中に感染拡大防止に必要な物品等の購入、庁舎内の感染症対策、セキュリティー強化に向けた調査への対応とございます。それで、予算書の12ページの9款消防費の中の6、災害対策費の委託料の中に庁舎内感染症対策、セキュリティー強化事業調査業務220万円とあります。これは多分そのとおりなのでしょうけれども、この庁舎が建ちまして3年、それから新型コロナウイルス感染症が発生しまして2年半ぐらいたつわけですが、これを強化するということは、町として今、現段階でどんな課題があるのか、お聞かせ願いたいと思います。

○委員長（奥山勝吉） 菅間総務課長。

○総務課長（菅間直浩） お答え申し上げます。ただいま委員からございましたように、この複合施設、オープンしてから3年ほどが経過しております。様々使ったの不具合、多少直してきたところもあるわけですが、実際この新型コロナウイルス感染症と今共存した中で、今後の施設の在り方というものを検証したときに、様々な課題が出てきているなと思っているところでございます。

そういった感染症に対応した、この社会情勢の変化に対応した対策の部分、それからもう一つは、この複合施設の中のセキュリティーの在り方、具体的に申しますと庁舎と中央公民館側の間の部分、こちらのセキュリティーについて、これからの施設の在り方としてもっと工夫できないかというような課題があると捉えたところでございます。

それに加えて、各課にも聞き取りをした中で様々、現段階でのちょっと解消すべき問題点が出てきているということなので、そちらについて、それを解決するための具体的な調査、提案をお願いしたいということでの委託料を計上したものでございます。

○委員長（奥山勝吉） 4番、竹田委員。

○4番（竹田雅彦） こういったものに関しては、できるだけスピーディーにといいですか、スピード感を持って対処をしていただきたいと思います。以上です。

○委員長（奥山勝吉） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（奥山勝吉） 質疑終結と認めます。

○議第39号の採決

○委員長（奥山勝吉） これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。なお、起立されない方は否決とみなします。

議第39号 令和4年度白鷹町一般会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第39号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○委員長（奥山勝吉） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（奥山勝吉） 以上で、本予算特別委員会に付託された補正予算1件の審査が終了いたしました。

なお、委員会審査結果報告については委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○委員長（奥山勝吉） ご異議がないので、審査結果報告は委員長に一任されることに決しました。

○閉会の宣告

○委員長（奥山勝吉） これをもって予算特別委員会を閉会いたします。
ご苦労さまでした。

閉 会

〈午前9時57分〉